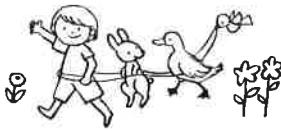


## けいせん

2017.3.15



「大切なものは目に見えない。肝心なことは他の目で見ないと見えないんだよ」

『星の王子さま』 サン・テグジュペリ

「見えぬけれど あらんじは 見えぬものも あらんじは」

『星とやし』 金子みすゞ

どちらもとても有名な言葉ですが、ご存知の方も多いでしょう。私たちも「わたしらは見えるものではなく、見えないものに目を注ぎます。」(コリントの信徒への手紙Ⅱ 4:18)という聖書の言葉を心にとめて、今年度も子どもたちと共に過ごしました。

大切な目に見えないもの、他の目で見ないと見えないもの、見えないけれどあるものって何でしょう。心、気持ち、思い、願いといった内面的なもの、またそれまでの努力、過程、時間、場所、雰囲気なども見えません。でもたったこれだけ並べてみても、そのひとつひとつが子どもが育つためにとても必要なものであることがわかります。あたたかい雰囲気の中で気持ちを受けてもらひながら毎日をすごせたら子はなんと幸せでしょう。結果だけではなくそれまで取り組んだこと、そのうれしさや悔しさをわかってもらえた子は、なんと力がもらえることでしょう。ずっと失敗しても、「あたたかならざるよ、丈夫」と信じてもらえた子は、なんと勇気がわくことでしょう。

新年、クリスマス、様々な行事の中で牧師先生のメッセージをきいてきた子どもたち。それぞれの学年にわかりやすい言葉で、時には絵本を使いつながら、とお話を内容は違つてもそこ貫かれていたメッセージ。それは“あなたがそこにいることがすばらしい!”でした。何かができるからではなく、すぐれた服を着ているからではなく、人より優れているところがあるからではなく、手に入れるものを手っているからではなく、あなたの存在そのものがとてもすばらしいかけがえのないものなんだ”ということ…。

これから卓立していく年長組の子どもたちが歩む道のりには、見えるものの誘惑も多く、見えるもので判断したり判断されたりすることの方が多いかもしれません。姿形、成績、結果、評価などなど。でも、これまで毎日大好きな仲間がありのままの自分を出し合って思いっきり遊び、そして祈りを共にしてきました。子どもたちは、自分を大切に、まわりの人々を大切に、見えないものを大切にしながら大きくなっていくことを1言じています。見えない祈りに支えられながら…。

新しい歩みの上に、神様の祝福がゆきかへありますように。